

令和四年第六回薩摩川内市議会定例会 施政方針等の概要

令和四年第六回市議会定例会の開会に当たり、現時点における諸報告と所信の一端を申し上げますとともに、このたび提案いたしました補正予算案等の概要を御説明し、議員各位並びに市民の皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

まず、先般の職員の不適切な事務処理により、市民の皆様に對し、多大な御心配と御迷惑をお掛けしましたことに、深くお詫び申し上げます。

全職員に對しまして、再発防止の徹底を通知したところでございます。今後も、職員と一丸となって、市民に信頼される市役所づくりに邁進して参ります。

新型コロナウイルス感染症につきましては、第七波の収束が見られ、新規感染者数は減少してきました。しかしながら、現在、国内においては、新規感染者が増加傾向にあり、本格的な第八波の到来を予感させる状況であります。また、県内においても、最近は僅かながら、新規感染者の増加傾向が見られることから、市民の皆様におかれましては、引き続き、場面に応じた正しいマスクの着用、こまめな手洗い・手指消毒、定期的な換気の実施等の基本的な感染防止対策の徹底をお願いしたいと

存じます。なお、新型コロナウイルスのワクチン接種に関しましては、先月八日から、オミクロン株対応ワクチンの集団接種を行っており、私自身、今月十二日に同ワクチンの接種を受けるところであります。今後、年末年始に向けて、感染再拡大の恐れもあることから、希望される場合には、早めのワクチン接種をお願いいたします。

次に、長引く原油価格及び物価の高騰に伴い、次第に市民生活への影響が大きくなってきている状況でございます。その対策としましては、これまでの予算と今回の補正予算案とを合わせ、約十八億七千万円余りを措置しております。具体的には、市民生活への支援として、住民税非課税世帯への五万円の給付をはじめ、全世帯に対する一世帯当たり五千円の給付、学校給食食材高騰対策、子育て世帯生活支援特別給付金の給付等を行うこととしております。さらに、事業者等への支援として、漁業者への燃料費支援、農業者への肥料等購入支援、飼料購入支援などを幅広く行うこととしております。なお、今回の補正予算案において、路線バス運行維持支援、貨物運送等に係る支援に要する経費を計上したところでございます。

なお、本年度は新型コロナウイルス感染症関連に係る経済対策として、キャッシュレス決済による消費喚起事業、地域の商

いパワーアップ事業を活用したとくとく商品券事業に、約四億八十万円を措置しており、物価高騰対策と合わせ、合計で約二十二億七千八十万円となります。

これらの様々な対策の効果が、一刻も早く市民の皆様に行き渡るよう取り組んで参りたいと存じます。

先月十二日、九州電力株式会社が、川内原子力発電所一、二号機の運転期間延長認可に係る申請書を提出されました。これは、その申請に必要な特別点検が終了したことに伴うものと理解しており、今後、原子力規制委員会において審査がなされま

す。これを受けて、私といたしましては、昨年設置しました薩摩川内市原子力政策調査部会に対し、調査・研究項目として「川内原子力発電所一、二号機の運転延長について」の追加を指示したところであります。今後、国の原子力政策の動向、原子力規制委員会及び鹿児島県の原子力安全・避難計画等防災専門委員会における議論などを注視しながら、同部会において、様々な視点からの調査・研究を行って参ります。

先月六日から十日にかけて、第十二回全国和牛能力共進会鹿児島大会が開催されました。鹿児島県勢が九つの出品区のうち、六つの出品区において首席を獲得するとともに、種牛の部において内閣総理大臣賞を受賞しました。本市から出品されました

森永三徳様の出品牛についても、第七区において、優等賞五席と優秀な成績を収められ、見事に「和牛日本一」の連覇に貢献されました。今後とも、関係団体の皆様と連携を図りながら、更なる畜産振興に取り組んで参ります。

なお、九月に下甑地域で発生いたしましたミカンコミバエについては、今月七日以降、上甑地域においても、成虫と幼虫が確認されました。これを受けて、十五日から二十日にかけて、甑島全域の山林部への、ヘリコプターからの誘殺板（テックス板）の投下が実施されました。引き続き、国及び県と連携を図りながら、一日も早い根絶に向けた対策を講じて参ります。

さらに、今月十八日以降、出水市の養鶏農場において、高病原性鳥インフルエンザの発生が相次いで確認されております。本市といたしましても、防災行政無線・ホームページによる市民周知、養鶏農家への注意喚起、消石灰の無償配布、愛玩用の鶏の飼養者への消毒薬の無償配布、公共施設への消毒マットの設置、出水市高尾野町の国道五〇四号バイパス付近に設置された消毒ポイント及び三例目の農場における殺処分処理に係る防疫作業への職員派遣など、対策に取り組んでおります。引き続き、県及び関係市町と連携し、情報収集に努めながら、全力で取り組んで参ります。

また、先月一日から二日にかけて、栃木県で開催されました第七十七回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」において、空手道、バスケットボール競技等を視察して参りました。各競技とともに、選手、スタッフ、関係者など多くの方々が来場されており、来年度の本市開催に向け、大会運営やおもてなしなどの面で非常に参考となったところでございます。来年度の本県開催まで残り一年を切りましたが、職員のみならず競技関係団体の皆様と連携を図りながら、万全の体制を整え、開催に向けた準備を着実に進めて参ります。

先月九日には、市民運動会を特別大会として五年ぶりに開催し、各選手団の皆様の元気一杯の競技や、国体に向けた市民の皆様へのダンスを拝見いたしました。コロナ禍による様々な制限を受ける中での開催ではありましたが、皆様に多くの元気をいただきました。今後、市民の皆様と一体となって、国体に向けた更なる気運の醸成に取り組んで参ります。

今月六日には、はんやまつりが開催されました。秋晴れの中、踊り連として四十二団体、約二千百名の市民の皆様が参加され、本市の秋の風物詩であるはんやまつりが盛大に開催されましたことを、大変喜ばしく感じた次第でございます。

二十日には、第十八回薩摩川内市産業祭&JAフェスタが開

催されました。本市の農林漁業に功績があつた方々への特別賞等の表彰のほか、会場では市内の様々な特産品や旬の農林水産物等の販売が行われました。今回は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、規模を縮小しての開催となりましたが、約一万三千五百名の御来場をいただきました。

二十七日には、第十七回市比野温泉よさこい祭りが開催され、本市内外から多くの方々が参加されました。

なお、これらの祭りは、いずれも三年ぶりの開催でありました。今後も、コロナ禍におけるウイズコロナの方針の下、感染防止対策を十分に徹底しながら、関係団体の皆様と力を合わせ、交流人口の創出に全力で取り組んで参ります。

九月三十日、本市及び第一生命保険株式会社は、包括連携に関する協定に調印いたしました。今後、同協定を基に、市民の健康増進、女性活躍推進・婚活支援、産業振興・中小企業支援、スポーツ振興、SDGsの普及啓発及び達成に向けた取組など、地域社会の活性化と市民サービスの更なる向上に向けて、具体的な協働の取組を進めて参ります。

今月一日、京セラコミュニケーションシステム株式会社川内事業所の増設に伴い、同社と立地協定を締結いたしました。同社は、京セラ株式会社から経営情報システム事業部が独立し、

情報システム企業として設立された会社であります。同社の川内事業所は、京セラ鹿児島川内工場内にて事業を行っておりますが、今回、鹿児島川内工場の増産計画に対応するため、新たに事業所を増設したものです。これに伴い、新規雇用に加え、他事業所からの配置転換による増員もあり、今後、地域産業の高度化や雇用の創出、地域経済の発展に大きく寄与されるものと期待しております。

先月十五日には、薩摩川内市青少年育成の日のつどい・子ども会大会が開催され、薩摩川内市青少年育成市民会議会長として出席いたしました。毎月第三土曜日は「青少年育成の日」として、各地域において様々な活動が実施されております。次世代の青少年の健全育成のためには、関係団体の皆様や各地域との連携が必要不可欠であり、家庭の力と地域の力を集結し、子どもたちの明るい未来の創生に向け、全力で取り組んで参ります。

今月二十日、大阪城ホールにて開催された全日本マーチングコンテストに川内北中学校吹奏楽部が初出場し、見事銀賞を受賞しました。コロナ禍により、練習の機会を確保することが難しい中であって、部員が一丸となって取り組んだ成果であり、誠に喜ばしい出来事であります。生徒にとって、貴重な経験と

なり、大きな自信につながったことと思います。指導にあたられた先生方、参加に際し温かい支援を送られた地域の皆様に対し、心より敬意を表します。

次に、川内港、南九州西回り自動車道、川内川改修といった、本市の根幹的社会基盤整備に係る要望について、関係団体の皆様及び近隣自治体と一体となって、積極的な活動を行って参りました。

まず、川内港に関しては、木材等の輸出が好調であり、年間の外貿コンテナ取扱量において、既に十月時点で五年連続二万TEUを達成したところであり、今年は過去最高の水準で推移している状況でございます。先月二十日に、川添前議長にも御出席を賜り、川内港整備促進期成会による県知事要望を、二十七日及び二十八日には、本県関係の国会議員、国土交通省港湾局及び財務省などに対し、川内港の整備促進に向けた要望を行って参りました。

また、南九州西回り自動車道に関しては、先月十三日に九州地方整備局に、二十八日には国土交通省道路局に対し要望を行いました。さらに、今月十一日には、東京都で開催されました南九州西回り自動車道建設促進大会に出席し、近隣自治体と一体となって、一日も早い阿久根川内道路の供用開始並びに全

線開通を、国に対し強く要望して参りました。

川内川改修に関しては、先月十七日に、九州治水期成同盟連合会として九州地方整備局に、二十六日には国土交通省に対し要望を行いました。今月十五日には、全国治水砂防促進大会に出席し、国土強靱化の推進、治水安全度の向上などを強く要望して参りました。

川内港及び南九州西回り自動車道の整備は、本市の「アフターコロナを見据えた薩摩川内市の中期的展望」にも掲げており、川内港臨海ゾーンにおいて中核を担うものであること、川内川改修は、本市の安全安心な市民生活の維持に欠かせないものであることから、今後も引き続き、関係団体の皆様と一丸となつて、整備促進に取り組んで参ります。

また、先月一日付けで、地区支援員四十八名に対し、辞令を交付いたしました。この地区支援員は、各地区において、第五期の地区振興計画の改定作業が円滑に進むよう配置したものであります。地区振興計画は、いわば各地区における総合計画として、地区ごとの課題や振興策などをまとめた五箇年間の計画であり、本市の市民サービスの充実と各地区の発展のためには、その着実な改定が必要です。地区支援員が地元の皆様に寄り添いながら、各地区においてそれぞれの特色を生かした持

続可能な新計画が策定されますことを期待しております。

さらに、今月二日、平成中校区において令和コミュニティ
トークを開催いたしました。これは、市民の皆様から直接御意
見を伺う対話の場として、昨年十一月から継続的に開催してき
たものであり、新型コロナウイルス感染症の影響で開催できな
い時期もありましたが、市内を一巡する十会場において実施し
たところでございます。今月七日から、市長就任三年目に入り
ましたが、今後も引き続き、市民の皆様との対話を継続して参
ります。

次に、補正予算案について御説明いたします。

今回の補正予算案については、一般会計において九億六千
百六十八万六千円の増額補正を、八特別会計において二億千
五百四十九万六千円の増額補正を、また、水道事業会計に係る
補正を提案したものであります。

一般会計につきましては、歳入において、市税等を収入見込
により増額し、歳出において、新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金を活用した物価高騰対策等の経費を増額す
るとともに、市民生活の安全安心を確保するための道路維持補
修事業に係る経費を増額しております。

そのほか、国県補助金の内示、事業費の確定又は執行見込み

等により、所用の経費の増減を行っております。

なお、今定例会におきましては、補正予算案のほか、薩摩川内市甌ミュージアム条例の制定についてをはじめとする各議案について、御審議をお願いしておりますが、会期中に薩摩川内市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定についての議案及び補正予算案を追加提案させていただく予定でありますので、御了承を賜りたいと存じます。

提案いたしました各議案の細部につきましては、主管部・課長から説明をさせますので、何とぞ慎重なる御審議を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、市議会におかれましては、先の臨時会において、大田黒議長、中島副議長をはじめ、議会運営委員会、各常任委員会及び特別委員会の委員が選任され、新たな議会の構成が決まりましたことは、誠に御同慶に堪えません。私も、市長就任三年目に入り、本市の未来創生と更なる市勢発展に全力で取り組んで参りますので、引き続き、市議会の皆様の、御理解と御協力を賜りますよう、重ねてお願いいたします。